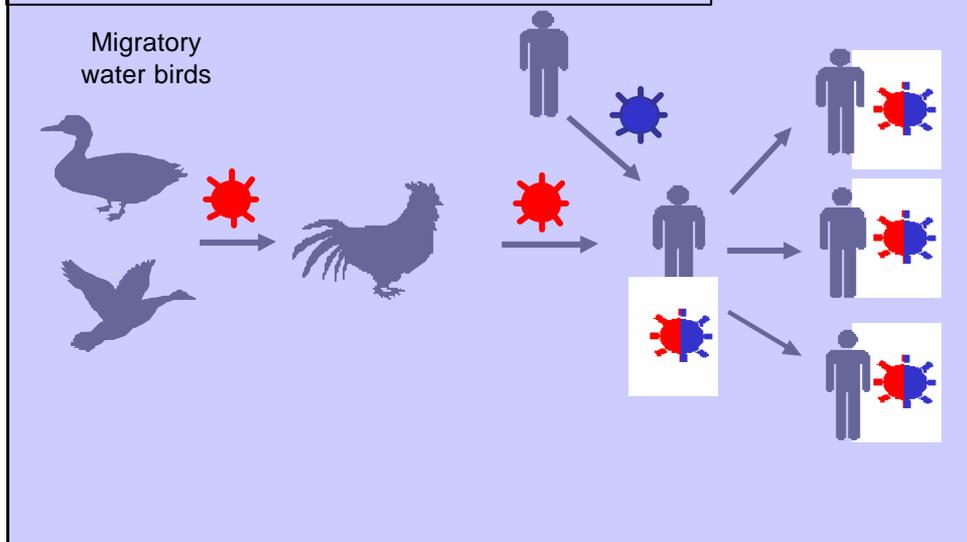
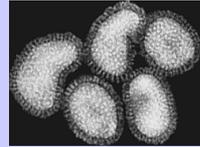


新型インフルエンザの登場 人インフルエンザ、鳥インフルエンザウイルスの 遺伝子組み換え



最近のト型インフルエンザ

- 鶏でのH5N1感染流行
香港 2001.5. 120万羽殺処分
韓国 2003.12. 185万羽殺処分
ベトナム、タイ、中国、インドネシア……
- 山口県におけるH5感染発見 (2004.1.)
ト型遺伝子であることが確認
- 大分県におけるH5感染発見 (2004.2.)
トリ型遺伝子であることが確認
- 京都府におけるH5感染発見 (2002.2.)
ト型遺伝子であることが確認
- 鶏でのその他の鳥インフルエンザ感染流行
オーストラリア、イタリア、USA、チリ、オランダ、ベルギー、ドイツ
中国、イギリス、カナダ、

ト型インフルエンザのヒト感染例

- ヒトにおける**H5型インフルエンザ**感染
 - 1997.12. 香港 18例感染、6例死亡
 - 2003.2. 香港 2例感染、1例死亡、家族死亡？
 - 2004.1-2. ベトナム 22例感染 15例死亡
 - 2004.2. タイ 現在進行中 12例感染 8例死亡
- ヒトにおける**H7型インフルエンザ**感染
 - 2003.4. オランダ 1例死亡、**ヒトヒト感染(?)**
- ヒトにおける**H9型インフルエンザ**感染
 - 2003.4. 香港 軽症例 2例のみ

ト型インフルエンザ

• ヒトへの感染

ブタを介しての感染

直接の感染

感染経路 呼吸器

病鳥の体液、排泄物との直接の接触

あるいは近距離での接触





ト型インフルエンザ

• ヒトへの感染

直接の感染

感染経路 : 呼吸器

病鳥の体液、排泄物との直接ないし近距離での接触

肉、卵のインフルエンザウイルスの感染は
ないわけではない

内臓の取り扱いには注意

食品としての危険性は極めて少ない

しかし処理過程での注意は必要

熱に弱い (摂氏 75度 1分、 摂氏 56度 3分 30秒)

食品としてのト型インフルエンザ

インフルエンザは呼吸器の感染症
消化管からは感染しない

胃の中にウイルスが入ったとしても
ウイルスは胃酸で不活化される

それでも心配であれば
加熱によってウイルスは不活化される

しかし、汚染鶏肉、卵などは、
市場には出回らない方がよい
直接の人への影響、というより
鳥インフルエンザウイルスの環境への拡大を止める

人における鳥インフルエンザの 今日のリスク

- 鳥での流行地におけるヒト感染例の出現
 - まだ少数例に留まっている
 - 人体に与える影響はまだ小さい
- 近い将来の新型インフルエンザウイルスの登場
 - ヒト・ヒト感染がおこれば感染は拡大
 - 大多数はH5に対して免疫がない
 - 罹患と死亡数の増加

人における鳥インフルエンザの 今日のリスク

- 鳥での流行地におけるヒト感染例の出現
 - まだ少数例に留まっている
 - 人体に与える影響はまだ少ない
- 近い将来の新型インフルエンザウイルスの登場
 - ヒト・ヒト感染がおこれば感染は拡大
 - 大多数はH5に対して免疫がない
 - 罹患と死亡数の増加

長目の導火線に火がついた状態

ものをこわがらな過ぎたり

こわがり過ぎたりするのはやさしいが

正当にこわがることは

なかなかむづかしい

寺田寅彦

- SARSは何を警告しているか - 竹田美文・岡部信彦

岩波ブックレットNo.606, 2003.

・ 我々は正しくこわがることが

できたであろうか？

できるであろうか？

鎮魂！

